

【高槻市 ICT 戦略 令和 4 年度個別施策実績報告一覧】

No	ICT 戦略の基本方針	取組事項	概要	成果指標	目標値	個別施策の評価及び今後の取組等		部	所属	関連計画		
						実施状況および実績等	今後の取組、特記事項等			総合計画 (6次)	改革方針	その他計画
1	(1) ICT 利活用による行政サービスの向上 (ア) 防災分野における ICT の利活用	災害情報共有システム	災害発生時における職員の参集状況や、被害情報、避難所状況等の情報収集、共有、伝達を一元的に管理し、迅速かつ適切な応急対策や市民への情報伝達につなげ、被害の拡大防止を図ることを目的としたクラウド型の災害情報共有システムを構築・運用	運用開始	令和 4 年 1 月から	システムを構築し、令和 5 年 1 月に実施した高槻市全域大規模災害訓練において、職員の参集状況や被害情報、避難所状況等の情報を迅速かつ適切に収集、共有、伝達できるような運用の確認を行った。	災害発生時における職員の参集状況や被害情報、避難所状況等の情報収集、共有、伝達の一元的な管理に向け、マニュアルの充実を図るとともに、迅速かつ適切な応急対策や市民への情報伝達につなげ、被害の拡大防止を図る。	-	危機管理室	安全で安心して暮らせるまち		地域防災計画
2	(1) ICT 利活用による行政サービスの向上 (イ) スマートシティ実現のための ICT の利活用	電子図書館サービス導入	既存図書館システムに電子図書館サービス機能を追加導入することによって、読書困難者を含めた利用者の利便性向上及び新たな利用者増を図る。	運用開始	令和 4 年度中	令和 4 年 1 月 2 日に運用を開始し、令和 4 年度を通じて 8376 件の貸出があった。	貸出対象となる電子書籍コンテンツの拡充を図る。	教育委員会事務局	中央図書館	子育て・教育の環境が整ったまち		
3	(1) ICT 利活用による行政サービスの向上 (ウ) デジタルファーストの推進	申請管理システム構築	国の「自治体 DX 推進計画」及び本市の「ICT 戦略」に基づき、行政手続のオンライン化推進のため、その基盤となる申請管理システムの構築を行い、特に国民の利便性向上に資する 2 7 手続及び転出届・転入予約について、令和 4 年度末までにマイナンバーからマイナンバーカードを用いてオンライン手続を可能にする。	運用開始	令和 4 年度中	申請管理システムの構築を行い、令和 5 年 2 月 6 日から転出・転入予約のワンストップサービスを開始し、令和 5 年 2 月 2 8 日から順次子育て関係 1 5 手続・介護関係 1 1 手続のオンライン化を行った。	今後も引き続き申請管理システムを円滑に運用し、行政手続のオンライン化を推進する。	総合戦略部	情報戦略室	効果的・効率的な行政運営が行われているまち		自治体 DX 推進計画
4	(1) ICT 利活用による行政サービスの向上 (ウ) デジタルファーストの推進	マイナンバーカード所有者の転出・転入手続ワンストップ化の導入	マイナンバーカード所有者がマイナンバーカードからオンラインで転出届と転入予約を同時に行うことによって住民の利便性の向上を図る。	運用開始	令和 5 年 2 月から	令和 5 年 2 月 6 日から運用を開始し、令和 4 年度は転出届について 474 件、転入予約について 369 件の申請があった。	オンライン手続に関する周知を行い、利用者の拡大に向けた取り組みを行う。	市民生活環境部	市民課	効果的・効率的な行政運営が行われているまち	生産性の向上	自治体 DX 推進計画
5	(1) ICT 利活用による行政サービスの向上 (エ) 子育て分野における ICT の利活用	電子申請による利便性の向上	マイナンバーカードからマイナンバーカードを用いてオンライン手続きを可能とするため児童手当システムの改修を行い、住民の利便性向上及び、行政運営の簡素化・効率化を図る。	運用開始	令和 4 年度中	令和 5 年 2 月 2 日より運用を開始し、オンラインによる手続の受付を行った。	オンライン手続に関する周知を行い、利用者の拡大に向けた取り組みを行う。	子ども未来部	子ども育成課	効果的・効率的な行政運営が行われているまち	生産性の向上	自治体 DX 推進計画
6	(1) ICT 利活用による行政サービスの向上 (エ) 子育て分野における ICT の利活用	児童保育室の事務用 PC の導入と Wi-Fi 環境構築	現行の紙ベースのやり取りを改善し、事務の効率化とペーパーレスの推進を図る。また、通信環境を整備することで児童用タブレット PC の使用が可能となる。	運用開始	令和 4 年度中	予定通り児童保育室の事務用 PC の導入と Wi-Fi 環境構築を行った。	今後も事務用 PC 等を活用し、事務の効率化とペーパーレス化の推進を図る。	子ども未来部	子ども育成課	効果的・効率的な行政運営が行われているまち	生産性の向上	
7	(3) ICT 利活用力の向上 (ア) 職員の ICT 利活用スキルの向上と BPR と IT ガバナンスの推進	広報誌のオンライン校正のための ASP サービスの利用	ASP 型オンライン校正ツールの導入により、全所属がオンライン上で広報誌の修正指示を入れることができ、事務の効率化を図る。またこれにより、紙の出力なしで校正作業を行うことができ、環境配慮、校正作業の効率化、在宅でのリモート作業の実現を図る。	運用開始	令和 4 年 9 月頃から	7 月号の制作から広報室と印刷会社間の校正で利用し、10 月号の制作から広報室と各所属間の校正で利用を開始した。	今後もオンライン校正を実施し、作業効率化を推進する。	総合戦略部	広報室	効果的・効率的な行政運営が行われているまち	生産性の向上	
8	(4) ICT 利活用による効率的な行政運営 (ア) 横断的な ICT の利活用	文書管理システムにおける PDF ビューア機能の導入	文書管理システムにおいて、複数の起案添付データをワークリックでまとめて PDF 形式で表示させることができる PDF ビューア機能を導入することで、電子決裁時の添付データの確認作業を効率化させる。	運用開始	令和 4 年度中	PDF ビューア機能を導入することで、起案文書等を一つずつ選択し内容表示させる手順を省くことができ、電子決裁時の添付データの確認作業を効率化させることができた。	法務ガバナンス室が行う新規採用職員を対象とした IPK 操作研修、文書取扱責任者講習会等で PDF ビューア機能の周知を図り、普及を促す。	総務部	法務ガバナンス室	効果的・効率的な行政運営が行われているまち	生産性の向上	
9	(4) ICT 利活用による効率的な行政運営 (ア) 横断的な ICT の利活用	地域ケア会議等オンライン会議におけるタブレットの導入	地域包括支援センター運営事業等において、タブレットを活用し、オンラインによる会議を実施、多様化する会議形式に対応できる体制を構築する。	運用開始	令和 4 年 8 月から	タブレットを購入し、地域包括支援センター等との会議や研修等をオンラインで実施できるよう体制を構築した。	今後、ハイブリット形式等、多様化する会議や研修形式にも対応できるように継続して活用していく。	健康福祉部	福祉相談支援課	暖やかに暮らし、ともに支え合うまち	生産性の向上	
10	(4) ICT 利活用による効率的な行政運営 (ア) 横断的な ICT の利活用	音声文字起こしシステムの導入	AI を活用して音声を自動で文字化し、議事録作成を支援する音声文字起こしシステムを導入することで、各所属での議事録作成時間の縮減を図る。	運用開始	令和 4 年 6 月から	令和 4 年 6 月から、音声文字起こしシステムの運用を開始し、各所属における議事録作成時間の縮減に寄与した。	引き続き、音声文字起こしシステムの運用することで、各所属における議事録作成時間の縮減を図る。	総合戦略部	みらい創生室	効果的・効率的な行政運営が行われているまち	生産性の向上	
11	(4) ICT 利活用による効率的な行政運営 (ア) 横断的な ICT の利活用	軽自動車税納付確認システム(軽 JNK S)の導入	軽自動車の継続検査において、各自体が登録する継続検査用納税証明書を検査窓口にて電子的に確認できるようにすることで、検査窓口の負担軽減及び申請者の利便性の向上を図る。地方税共同機構において軽自動車税関係手続の電子化が進められており、全自治体一斉稼働を予定している。	運用開始	令和 5 年 1 月から	令和 5 年 1 月から軽自動車税納付確認システム(軽 JNK S)の本番稼働し運用が開始された。本市においても車庫ごとの納税証明書発行を密着し地方税共同機構が指定する情報の登録を継続的に実施している。	システムの運用を円滑に実施するため、引き続き必要な情報の登録を継続する。	総務部	収納課	効果的・効率的な行政運営が行われているまち		
12	(4) ICT 利活用による効率的な行政運営 (ア) 横断的な ICT の利活用	地方税共通納税システム税目拡大及び QR コード対応	地方税共通納税システムにおいて、新たな税目として固定資産税・軽自動車税・市市民税を納税可能とする。また納付書に QR コードを印字することで納税手続の電子化を推進し納税者の利便性の向上及び金融機関からの納付済情報をデータ連携することで事務負担の軽減を図る。	運用開始	令和 5 年度課税分から	令和 5 年 4 月から発行する市税納付書に eL 番号・QR コードを印字し、納付書情報を地方税共通納税システムに登録する運用を開始した。これにより地方税共同機構が運営する支払用ウェブサイトや対応するスマホ決済アプリ等での納付が可能となった。	システムの運用を円滑に実施し、多様なキャッシュレス決済の一層の推進を図る。					
13	(4) ICT 利活用による効率的な行政運営 (ア) 横断的な ICT の利活用	AR アプリの導入	芥川城跡の国史跡指定を記念して、芥川城を 3DCG で再現するスマートフォン向け AR アプリを制作し、本市の PR と歴史文化に親しめるツールとして公開する。	運用開始	令和 5 年 3 月までに	スマートフォン向けアプリ「AR芥川城」を令和 5 年 3 月に完成。同 4 月 6 日(城の日)にあわせ、公式発表。	今後も国史跡芥川城跡の普及啓発の一環として、アプリの維持管理・公開を行い芥川城の魅力を伝えていく。	街にざわい部	文化財課	魅力にあふれ、にぎわいと活力のあるまち		
14	(4) ICT 利活用による効率的な行政運営 (イ) 教員の負担軽減	学校給食費公費化に伴う学校給食費徴収管理システムの導入	教職員の負担軽減、保護者の利便性向上、給食管理業務の透明化を図ることを目的に、令和 5 年 4 月から学校給食費を公費化するため、既存の教育ネットワークを活用しながら、教育委員会が全校校分の給食費徴収管理業務を取り纏めて一括管理するためのシステムを新たに導入する。	運用開始	令和 5 年 4 月までに	恒久的な中学校給食費無償化、時限的な小学校給食費無償化を実施する中、教職員の給食費の徴収管理や児童生徒を含む喫食状況の管理、アレルギー情報の管理などを行うため、予定どおり令和 5 年 4 月より運用を開始した。	今後も継続してシステムを有効に活用しながら、給食費徴収管理、喫食状況の管理、アレルギー情報の管理を行っていく。	教育委員会事務局	保健給食課	効果的・効率的な行政運営が行われているまち		
15	(4) ICT 利活用による効率的な行政運営 (ウ) 共通基盤の導入/ホストコンピュータシステムの再構築	国民健康保険システムの再構築	ホストコンピュータで稼働している国民健康保険システムの再構築を行う。再構築にあたり、国と国民健康保険中央会において開発した市町村事務処理標準システムを導入することで、国民健康保険の平準化・効率化・コスト削減を図る。	運用開始	令和 5 年 1 月から	国保の資格管理、保険料賦課・徴収、保険給付などの事務処理の平準化・効率化・コスト削減を図るため、予定通り市町村事務処理標準システムの運用を開始した。	今後も市町村事務処理標準システムによる効率的な事務処理に取り組む。	健康福祉部	国民健康保険課	効果的・効率的な行政運営が行われているまち		
16	(4) ICT 利活用による効率的な行政運営 (ウ) 共通基盤の導入/ホストコンピュータシステムの再構築	文字基盤構築	「情報システム最適化・再構築計画の方針」及び国の「自治体 DX 推進計画」に基づき、基幹系システムを標準仕様準拠システムに再構築するために必要となる文字基盤を構築する。	運用開始	令和 4 年度中	市民課による既存文字と文字情報基盤文字との文字間定作業を行い、令和 5 年 3 月 2 0 日より運用を開始した。また、サーバ環境については、文字コード変換サーバと共通のサーバを利用する事により、サーバに係る経費を削減した。	標準準拠システムの稼働に向け、随時新規に発生する文字を反映し、最新の状態を維持する。	総合戦略部	情報戦略室	効果的・効率的な行政運営が行われているまち	生産性の向上	自治体 DX 推進計画